

未来構想図

5つの協働目標に向かって

基本構想では市の将来像や5つの協働目標を掲げ、今後の宇城市の方向性を示しています。

将来都市像

新生・宇城市が将来にわたって発展していくためには、「ひと、自然、文化」をさらに未来都市の理念のもと、「強くやさしい未来都市」の基盤を築き、市民と協働して切り拓いていくことが必要です。

こうしたことから、本市の将来像を次のように掲げます。

美しい田園風景と不知火海の文化に彩られた 未来に輝くフロンティアシティ・宇城

土地利用構想

土地利用は、長期的かつ総合的な展望に立ち、社会的、経済的、歴史的、

- 文化的諸条件等に配慮する必要があります。また、環境の保全や公共の福祉に重点を置く一方、都市としての秩序ある自立性に向けて総合的な土地利用を合理的かつ有効に進めていく必要があります。
- ◆土地利用の基本方針
- ①共に支えあい安全で安心して暮らせる土地利用
 - ②市民と行政が協働して進める魅力ある土地利用
 - ③自然と共生するゆとりと潤いのある土地利用

主要指標

- 人口 出生率の低下により、2015(平成27)年の将来人口は、減少傾向が予測されますが、住環境や子育て環境、雇用対策の充実など将来像実現に向けた各種施策を推進することにより、約7万人と想定します。
- 就業者数 2015(平成27)年で約3万4千人の就業者数が見込まれます。
- 域内総生産 国内の景気動向は、近年、徐々に回復していることから、本市における域内総生産も、景気回復と人口増に見合った総生産の伸びが見込まれるため、年間平均1.5%の域内総生産の成長を目指します。

協働目標

本市の将来都市像「美しい田園風景と不知火海の文化に彩られた未来に輝くフロンティアシティ・宇城」を実現するためのまちづくりの課題を克服するミッション(使命・任務)として、次の5つの協働目標を掲げ、市民の皆さんと共にまちづくりを進めていきます。

Mission 1 協働目標

自然と共生するエコタウンの構築
～みんなで築く循環社会の形成～

施策分野 環境共生

- 「環境保全」「環境文化」「地球環境・エネルギー」「環境教育」の4部門に分けて目標を設定
- ◆具体例
 - 地球環境の保全に寄与する市民の生活文化の形成
 - それぞれの自主的な取り組みによる循環社会の構築、エコタウンの構築
 - 生活の多様化に対応した廃棄物の衛



資源循環型社会を目指して毎年開催されるリサイクル祭

- 生・効率的な処理体制の確立
- 先人たちから受け継いできた私たちの感性や地域の風土の継承
- すべての人が愛着と誇りが持てる文化的潤いのある環境の保全・創出
- 市民、事業者、行政が一体となった、太陽光・太陽熱利用などの新エネルギーの導入
- エネルギーを有効活用できる省資源・省エネルギー型社会の実現
- 市民一人ひとりが自然環境を守っていくために、それぞれができることから積極的に行動する取り組み
- 市民が環境に対する理解を深め、関心を高めるための環境教育の推進、その基盤となる環境教育の拠点づくり
- 市民・事業者・行政の協働による環境保全型のまちづくり
- すべての人がそれぞれの役割を認識すると共に、パートナーシップを形成した環境教育・環境学習、環境保全活動への積極的な取り組み

※1 エコタウン…通産省(現経済産業省)が推進する地域内の廃棄物ゼロを目指す事業。

Mission 2 協働目標

白寿へいざなうセルフケアの確立
～QOL向上を目指す健康社会の形成～

施策分野 健康環境

- 「保健」「食育」「地域医療」「健康増進」「スポーツ・レクリエーション」の5部門に分けて目標を設定
- ◆具体例
 - ライフステージに応じた健康診断・相談、訪問指導などの保健事業を推進
 - 健康に対する市民意識の高揚、保健予防対策の充実
 - 地域における保健・医療・福祉の連携や情報システムの整備など、生涯を通じた市民の健康づくり
 - 子ども一人ひとりが「自分の健康を



QOL向上に向け各種保健事業等を推進

- 守りそれを維持できる能力」の育成
- 「食教育」の重要性を見直し、食事の自己管理能力を育てるための食育の推進、健康的な生活習慣の確立
- 市民の生涯を通じた健全で安心な食生活実現のための、情報提供活動や地域における実践活動
- いつでもどこでも適切な医療がより早く受けられ、誰もが安心して日常生活を送られるための救急医療体制確立
- 24時間体制で救急医療施設の迅速な検案による案内、患者の転送などに対応できる救急医療情報システムの構築
- すべての市民が健康で明るく元気に生活できる社会の実現
- 市民一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」ことを基本に、生涯にわたる健康づくり活動の支援
- 疾病予防に重点を置いた施策の展開
- 市民が主体的・継続的に健康づくりに取り組むことができるための健康環境づくり体制の整備
- 市民の誰もが気軽にスポーツ活動に親しむことができるための総合型地域スポーツクラブの育成

※4 ライフステージ…人間の一生を段階区分したもの。通常は幼年期・少年期・青年期・壮年期・老年期に分ける。

Mission 3 協働目標

安定した生活・産業のインフラ整備
～活力と魅力あふれる快適生活～

施策分野 都市基盤

- 「土地利用」「道路・港湾」「都市・農村計画」「公園緑地・都市景観」「公共交通・情報通信」「住宅・宅地」「上水道・下水道」の7部門に分けて目標を設定
- ◆具体例
 - 市民主体にもとづく総合的かつ計画的な土地利用の推進
 - 国道や県道、市道など、放射環状型の道路ネットワークの整備
 - 都市機能の効率的な配置や快適な住環境の整備
 - 公園緑地化などによる市民の憩いの場となる空間整備
 - 公共交通における、鉄道、空路、航路、バスなど交通輸送体系の総合的な整備と連携
 - 豊かさを実感できる生活を営むための、良質な住宅の供給・住環境の形成
 - 市民の生活水準の向上、都市施設の整備などに伴う水需要の増大に対応した施設の改良整備、水の安定供給

- 通業「工業・15次産業」「観光・物産」「雇用・労働」の7部門に分けて目標を設定
- ◆具体例
 - 経営感覚に優れた地域農業の担い手の確保・育成
 - 魅力ある商業集積、流通機能の強化、生鮮食料品などの流通の円滑化と価格の安定
 - 産・学・官の連携による新製品・新技術の研究開発・技術提携
 - 魅力ある観光地づくりを推進するための施設や景観の整備
 - 若年層に魅力のある就業の場やリストラ等に伴う中・高齢者への就業の場の確保



魅力ある観光地づくりを推進(三角西港)